

論語教室だより

『寺子屋・こども論語塾』世話人会

第 93 号

2019 (平成31) 年1月19日 (土)

偉人のことばのパワー

塾生・渡邊 春太郎の保護者 渡邊 昭博

子どもの塾生のみなさんには、夢がありますか。

私は、高校で先生をしています。生徒たちに夢や目標をもってもらいたくて、学級通信で偉人のことばを伝えていきます。夢が見つからない生徒には、次のことばを贈りました。

「自分には自分に与えられた道がある。自分だけしか歩めない、二度と歩めぬかけがえのないこの道。」

(パナソニック創業者 松下幸之助)

そして、人には誰でも、自分にしかできない役割がある。その役割を見つけて毎日を輝かせるために、「自分の長所は何か？ どうやって人のために活かしたらいいかな？」と考えてみよう、と伝えました。

私はよく、夢は大きい方がいいといいますが、「どうせできない。自分には無理だ。」と考える生徒がいます。

そんな人に向けて、インドのガンジーのことばを紹介しました。

「私は、ひとりの人に可能なことは、すべての人に可能であると、常に信じている。」

たとえば、「エベレストに登る」とか、「プロ野球選手になる」という夢は、難しいけど、たくさんの方が実現している。他の人にできて、君にできない理由など、どこにもないんだ、と伝えました。

それでは、夢を叶えるために大事なことは何でしょうか。それは、「続けること」と、「失敗を恐れないこと」。

そこで、次のことばを選びました。

「雨だれが石をうがっ(穴をあける)のは、激しく落ちるからではなく、何度も落ちるからだ。」

(ルクレティウス 古代ローマの詩人・哲学者)

「わたしは実験で失敗したことなど一度もない。

これでは電球は光らない、という発見を1万回してきたのだ。」

(エジソン アメリカの発明王)

そうやって、偉人のことばで高校生たちを励ましていると、私自身も励まされます。塾生のみなさんも、偉人の名言や伝記をたくさん読んでみてください。たくさんパワーをもらえますよ。

新しい年を迎えて

寺子屋・こども論語塾 主宰 新田 修

あけましておめでとうございます。

2019(平成31)年の新しい年がスタートしました。今年は4月末で「平成」が終わり(但し、新元号公表は4月1日)、5月から新たな元号の時代が始まります。寺子屋・こども論語塾も9年目に入りました。

論語は「人が人として正しく生きるため」の孔子の教えです。言葉をかえて言うなら「理想的な生き方についてのシンプルなルールを学ぶことができる」教えと言ってもよいでしょう。

新しい年を迎えて、今一度塾生の皆さんには、思いやりの心を大切にし、それを実践で示すことができる年にしてほしいと願ってやみません。